

令和3年度第1回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 令和3年8月17日（火） 午前10時から午前11時30分まで
 場 所 日進市役所本庁舎4階 第1会議室
 出 席 者 高木伸治、水嶋義弘、鵜飼宏成、亀倉正彦、山田慎太郎、三村剛、高岡俊彦、堀修、小金澤衣里（敬称略）
 欠 席 者 市川耕一（敬称略）
 事 務 局 石川達也（総合政策部長）、和田徹（同部調整監）、杉田武史（同部次長兼企画政策課長）、安彦直美（同課課長補佐）、西口和宏（同課市政戦略係長）、志水崇法（同課同係主任）
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有（6名）
 次 第 1 開会
 2 あいさつ
 3 諮問
 4 議題
 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る主な事業及び指標の検証について
 5 閉会
 配 付 資 料 資料1 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略指標検証表
 資料2 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略該当部分抜粋

	1 開会
	2 あいさつ
	3 諮問
	(市長から諮問書を手交)
	(傍聴者入室)
	4 議題
委 員 長	議題 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る主な事業及び指標の検証について、説明をお願いします。
事 務 局	(資料1、2に基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明についてご意見、ご質問をお願いします。 なお、本日の進め方ですが、基本目標4の施策4-1を例として、数値目標とKPIの関係性や、さらにそれを支える事業の考え方についてご審議いただきます。本日の議論は、今後、他の施策における数値目標とKPIの関係性や主要事業の見直し等にも繋がってくると考えていただければと思います。次年度以降は、今年度の一連の議論に基づいた成果により、次の検討施策の領域が見直された上で、テーブルに乗ってくると期待しております。

	<p>今年度は、おそらく日進市では初めて指標について皆様と考えていく時間になると思います。</p>
委員	<p>数値目標についてですが、まず初期値の評価を補足していただきたいとします。初期値が元々高いのか低いのか。近隣の市町の同様の指標と比べてどうなのかを踏まえた上で、目標を設定すべきではないでしょうか。</p>
事務局	<p>初期値は基本的に市民意識調査の値が多く、その値を基に所管課で目標値を設定しています。近隣の市町と比べて初期値が高いか低いかの検証はしておりません。しかし、公共交通に関する指標は低い値となっていると感じるところはあります。数値目標が近隣市町と比べて満足度が高いか低いかはわかりませんが、重要度は市民意識調査の中で高い項目であったため、数値目標として選定しています。</p>
委員	<p>資料を見ると、こういうやり方もあるのかと思います。やりたいことの項目を挙げてグルーピングし、その事業を実施することで数値目標が上下するということですね。ただし、これでは数値が良くなる場合、何が問題なのか探し出すことができません。今必要なのは、要因を分析した上で、一番効いているというものを見つけることです。</p> <p>例えば、くるりんばすで説明すると、ただ漠然と「満足した」という指標結果だけでは何もわかりません。指標として何を目標しているかもわかりません。その中で、資料1のように、鉄道駅を基点にして市の中心部とリンクするような形を目指すという位置づけについて説明があると、内容が納得できると思います。なお、公共交通について、くるりんばすだけで100%満足してもらうことは今後も不可能だと思いますが、100%を目指して25%を30%にするということに違和感があります。市が高齢者を対象に交通の問題を解決したいという気持ちは、とてもよくわかります。けれどもそれをどういう形で実現するのか示す必要があります。市全体をゾーンで分けて、ゾーンによっては別の交通手段を考えるなど、市の方向性をきちんと描くということです。その実現について、どのような問題・課題や不満があるかということアンケートで確認すれば、アンケート結果が生きてくると思います。今のアンケートでは、毎回行って一喜一憂しているだけで、いつまでたっても改善しないと思います。それが今の日進市の現状だと思います。</p> <p>同じように、防犯の内容で防犯カメラであれば、個人情報の取扱いに関する方針が全く見えてこない状態で唐突に出てきます。けれども刑法犯といっても色々な種類があります。不法侵入や高齢者に対する特殊詐欺などが実際どうなっていて、今年は何を重点的に対策したいのかが、指標から見えてきません。また、目標値は3.9ではなく基本は0だと思います。加えて、目標達成に向けての施策やビジョンが見えないです。この状態では、公共交通と同じように毎回、一喜一憂となってしまいます。市民の立場で考えると、どこを目指しているのか、今年は何を重点的に実施するのか、それを示すものが総合戦略に</p>

	<p>記載される施策であって、それに対して評価できるような数値、例えば、今年 はオレオレ詐欺の件数が減っているなどが記載されていると良いと思います。 自主防災組織の世帯カバー率や消防団員の定員充足率は、具体的な指標が あるのでわかりやすいと思います。うまくいかなかったとき、何が原因なのか が見えます。フィードバックがかかるという事です。しかし、他の KPI は、進 捗の原因が分からないものとなっており、改善のためのアイデアを最初か ら考え直すこととなります。この手法でも結果としては良いのかもしれませんが、 日進市に住んで良かった、行政によって生活環境が良くなっていると思 えるようなものにしてほしいと思います。</p> <p>そういった意味では新型コロナウイルスのワクチン接種に関しては毎回工 夫されて改善されています。これはすごいことだと思いました。1 回目に問題 だと思っていたことが 2 回目には改善されていました。PDCA が回っていたと 感じました。外注かと確認したら、市の職員もやられていました。すごいと感 じました。こういうことができるのであれば、もっと良い行政ができるのでは ないかと期待しています。</p>
委 員 長	<p>貴重なご提案ありがとうございます。そもそもの考え方についてのご意見 です。今までこういった議論がされてこなかったのも、非常に的確で次に繋がる 議論だと思います。この場でこういった考え方を出していくことが今日の テーマだと思っていますので、他の委員の意見も頂戴したいと思います。</p>
委 員	<p>数値目標 1 から 4 ですが、1 から 3 を進めることで、4 を総合的に上げてい くというイメージに見えます。それに対して施策や主な事業を非常に盛り沢 山に組まれています。4 の目標値が 80.5%です。その根拠が、過去の 1 番良 い数値に戻すとなっていますが、この根拠はどうかと思います。過去の数値に 戻すための施策や事業に思えてしまいます。これだけ盛り沢山のことを実施 すれば、もっと上がるのではないかと思います。また、過去の最高値である 80.5%から 77.2%に下がった本当の要因が何なのかということが、先ほどの 考え方という話に繋がると思います。数値目標 1 が弱かったからここを厚く して数値を上げますとか、数値目標 3 がポイントで効いているのでここを重 点的に進めますとか、そのようにわかりやすい作りになっていけば、皆さんも 納得されると思います。</p>
委 員	<p>自主防災組織の世帯カバー率と消防団員の定員充足率について 2 つありま す。どちらも目標値 100%です。災害はいつあるかわかりませんので、災害の 備えには上限が無いものであり、なかなか目に見えないことです。市民一人ひ とりがそのことを自覚して、自ら避難して自分の命を守るということも必要 です。自主防災組織について、阪神淡路大震災の頃から、日進市でも組織がで き始めました。避難所の運営訓練などを推進され、ずいぶん安心であると感じ ます。一方で、災害情報の発信媒体が多様化しており、それらを総括して把握 できているのかと思うこともあります。</p>

	<p>また、消防団においては現在、機能別消防団や女性消防団などを取り入れながら進めようとしています。消防団も若干、高齢化が進んでいますので、退団のタイミングと自主防災組織入会を上手くリンクできるとよいと思います。自主防災組織の役員などを経験した高齢の方はやめて欲しいということではなく、それぞれの人がやれる範囲内のことを上手くバランスを取っていただくと、色々な知識が合わさるということです。そういったところを目指していただきたいと思います。</p> <p>大きな災害時に映像を見ると、消防団員が胸まで水に浸かって高齢者を誘導しているような場面があります。そうすると色々な設備や道具を用意する必要があります。また、数年後の災害対策が現在と同様かどうかは読めませんが、後手に回らないように戦略を練っていただくと良いと思います。</p>
委員長	<p>今は、主な事業について、記載されていること以外にも、現実を見ながら事業項目の設定を検討しなければならない、というご提案だと感じました。</p>
委員	<p>日進市の防災対策マップを確認しましたが、天白川付近のこのあたりは、1000年に1度の大雨が来ると水に浸かると書いてありました。災害対策本部やボランティア本部が浸水またはある程度の被害を受けることが予想され、年々大雨が増えてリスクが高まっていくと思います。実際の災害時に機能できないのは困りますので、随時見直しを図っていく必要があると思います。</p> <p>6月に社会福祉協議会の方とお話しする機会があり、災害ボランティアやコーディネーターも高齢化の問題があると聞きました。コーディネーターの育成をしておかなければ、いざ災害が起きた時に市の職員は色々な業務をやらなれないといけないため、個々のケアをすることができません。コーディネーター育成の働きかけの必要性を感じております。数値とは関係ないかもしれませんが、そのあたりも力を入れて取り組んでいただきたいと思います。</p>
委員	<p>3点お願いします。1点目、今回、わかりやすい資料を準備いただいたと思っております。資料1の作成は大変な作業だったと推察します。資料作成で苦労された点を教えてください。現行の指標に基づき作成されたと思いますが、日進市の向かう方向は状況に応じて変わってきていると考えます。これから進めていく上で、目標や数値が反映しきれていないと感じるものもあったのではないのでしょうか。そういった部分が指標の見直しや検証に繋がっていくのではないかと思います。</p> <p>2点目、数値目標は基本目標4の全体の目標だと理解しています。基本目標4には、今日検証している施策4-1のほかに施策4-2もあります。数値目標が4つある中で、数値目標1から3は施策4-1に関わるもので、数値目標4は施策4-2に直接は関わらないと見受けられます。バランスを考えるのであれば数値目標は施策4-1から2つ、施策4-2から2つとした方が良いと思いますので、事務局で検討していただければと思います。</p> <p>3点目、数値目標は市民満足度として市民意識調査に関わる数値がほとんど</p>

	<p>です。市民の満足度や意識というものは非常に重要だと考えております。ただし、2つの意味でこの内容をメインに持ってきていいのかと考えております。まずは満足や意識というものは、状況によって常に変わってしまうところがあります。人間の欲望はキリがなく、少し進むと別の粗が見えたりするので、安定せず移ろいやすい部分があります。2つ目としては、市民は全ての情報を知りうる立場ではないと思いますので、全体像をしかるべき立場の方々をしっかり検討した上で、日進市のあるべき姿を市民の方々へ提案していくことも委員会の存在意義の1つだと考えられます。市民が満足しているということは、副次的な指標としては大事だと思いますので、施策4-1や4-2のKPIに含めることは問題ないと思いますが、メインの目標ではないと思います。数値目標は総合指標とでもいうのでしょうか、KPIの指標を何らかの形で合算させたような指標にするとバランスが良くなると思います。市民の主観的な部分も客観的な部分も取り入れ、質的に量的にバランスを取ることが大事だと思います。全体的な数値目標は総合指標としてはどうかという提案です。</p>
事務局	<p>資料作成の上で気付いた点ですが、数値目標やKPIに設定した理由や目標値の考え方が所管課によってばらつきがあると感じました。また、主な事業がKPIに関連しており、KPIが改善することで数値目標の値も改善し、目標に近づくという流れが不足しているものもあると感じました。</p>
委員	<p>本来KPIはあるべき姿を想像して、いつまでに何をやるか、その達成率はどのくらいかというもので、自分たちがビジョンを共有することでKPIが設定されるはずです。そもそもの考え方が違うのではないかと思います。</p>
委員	<p>例えば、公共交通がいくつかある中で、もちろん、くるりんばすは大事ですが、何故くるりんばすの利便性に対する満足度がここで出てくるのかが疑問です。第2期日進市人口ビジョンまち・ひと・しごと創生総合戦略を見ると、社会増減の中で転出要因のトップが「交通が不便である」となっています。全体で見れば転入増ですが、日進市に不満を持って転出される方を少しでも減らしたい、そういう目的意識に立つと、「交通が不便である」とはどういう意味なのかを可能な範囲で深掘りした結果、くるりんばすの利便性に重要なポイントがあるかもしれない、とのことであれば良く理解できます。このようなつなげ方でKPIの指標を設定することも検討されるといいのではないのでしょうか。数値は表面だけを見れば良いのではなく、数値の中に何が含まれているのかという切り口を持つと、理解していけると思います。</p>
委員	<p>災害対策に関連する事業で、数値目標やKPIに資する理由が、市の体制強化を公表することで市民の安心感が増加すると予測されています。目に見えるものであれば市民もわかりやすいと思いますが、目に見えないものはなかなか伝えづらいところもあると思いますので、公表という部分では色々なやり方があります。特に災害に関しては、後で知らなかったでは困りますので、ぜひ工夫して取り組んでいただきたいと思います。</p>

	<p>主な事業の 14 番の数値目標に資する理由の記載について、「足を確保」という表現は不適切と感じました。「移動手段の確保」等に変更されてはどうでしょうか。</p>
委 員 長	<p>こういった議論を重ねながら変えていくということが今回の主旨です。事務局も計画して推進するという意欲で作成していかないと、他部署に遠慮して出された意見をまとめるだけになってしまいます。イニシアチブを取るといふ覚悟で進めることで、総合戦略の役割を果たすことができると思います。意欲的なプランを設計していただき、さらにそれを皆さんで議論できればと思います。従来の作り方ではなく、それを超えようということがこの委員会の役割ではないかと思います。激励として一言申し上げさせていただきました。</p>
事 務 局	<p>委員の皆様からいただいたご意見を参考にさせていただきながら、また、従来の考え方を改めさせていただきながら、次回以降も進めていきたいと思えます。</p>
	5 閉会